

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,179,803	6.4	29,944	49.7	31,215	41.9	20,871	40.8
2023年3月期第3四半期	2,047,935	4.2	20,000	6.7	21,992	2.3	14,822	△20.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 23,461百万円(10.7%) 2023年3月期第3四半期 21,186百万円(240.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	107.92	—
2023年3月期第3四半期	73.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,500,114	464,343	30.9
2023年3月期	1,339,852	488,335	36.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 464,040百万円 2023年3月期 488,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2024年3月期	—	34.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	69.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が5円含まれております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,860,000	6.1	36,000	19.4	38,000	15.7	24,900	△3.4	129.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	202,840,000株	2023年3月期	202,840,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	15,970,259株	2023年3月期	471,650株
------------	-------------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	193,402,320株	2023年3月期3Q	202,369,070株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年5月に公表した「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム[®]～(以下「22-24中計」という。)」に掲げた以下のグループ経営方針に取り組んでおります。

- ・『事業モデルの強化』と『新たな価値の創造』
- ・『グループ一体となった取り組み』による地域の健康・医療への貢献
- ・『環境保全への取り組み等』を通じたサステナブル社会への貢献
- ・『ダイバーシティ』を中心とした人財戦略の推進
- ・『コンプライアンスの遵守』を最重要とする企業風土の醸成

また、2023年5月、当社はグループのさらなる企業価値向上を実現すべく、2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を公表するとともに、資本効率の改善と株主還元の実現を図るため350億円を上限とする自己株式取得を決議し、同年10月2日をもって、15,201千株を取得し終了いたしました。

当社の「新たな価値の創造」への取り組みとして、2023年5月、抗体医薬を主体とした研究開発を行う株式会社凍研究所(本社：東京都中央区)に対し第三者割当増資による出資をいたしました。同社が進める抗体医薬の開発を支援していくとともに、トータルサプライチェーンサービスの実現に向けて医薬品等製造事業における開発パイプラインと製造技術を強化してまいります。

また、組織再編により当社の完全子会社となったセルリソース株式会社(本社：東京都千代田区)は、2023年7月、Miltenyi Biotec B.V. & Co. KG(本社：ドイツ連邦共和国)との間で、遺伝子細胞治療市場における自動細胞製造施設・工程の設計、建設、稼働のサポートを目的とするバイオインダストリー・サポート契約を締結いたしました。当社グループでは、本契約を契機として遺伝子細胞治療市場に対して高度に自動化された受託細胞製造サービスを提供する事業基盤の整備を進め、再生医療等製品の受託製造サービスを提供する体制の構築を進めております。

さらに、2023年11月、当社の子会社である株式会社ゲッカワークス(本社：東京都千代田区)は、かねてより実証実験を進めていた医師向け会員制Webサービス「ドクシル」の本格運用を開始いたしました。同社は、当社グループの医療用医薬品等卸売事業のMS^{*}とともに、地域医療連携を支援し、医療提供体制の充実や医師の働き方改革へ貢献してまいります。

資金調達としては、2023年12月、当社は、社会価値の創造に資するため、茨城県つくば市における新たな物流センターおよび群馬県太田市における医薬品製造棟の建設・運営のため、総額200億円のソーシャルボンドを発行いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2兆1,798億3百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益299億44百万円(同49.7%増)、経常利益312億15百万円(同41.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益208億71百万円(同40.8%増)となりました。

※ MS(Marketing Specialist)：マーケティング・スペシャリスト。医薬品の卸業における専門知識を持った営業員

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2023年5月から「5類感染症」に移行されましたが、再拡大の様相を呈しました。このようななか、当社グループでは、生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、医薬品等の安定供給はもとより、新型コロナウイルスワクチンおよび治療薬の配送業務ならびに欠品や需給調整が続くジェネリック医薬品への対応に尽力しております。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品への取り組み強化とDXによる事業変革を通じて、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」を推進しております。

当社グループでは、新たな医療サービスの開発に挑戦する様々なベンチャー企業との提携により、医療分野における課題解決への取り組みを進めております。

連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)は、株式会社MICIN(本社：東京都千代田区)との間で資本業務提携契約を締結し、オンライン診療サービス「curon(クロン)」や通院専用のキャッシュレス決済サービス「クロンスマートパス」等の普及拡大を推進するとともに、両社の経営資源を活用し、生活者の健康向上や医療アクセスの充実につなげるなど、医療・ヘルスケアサービスの開発および展開を図っております。

また、アルフレッサ株式会社は、2023年5月、キッズウェル・バイオ株式会社(本社：東京都中央区)および三菱倉庫株式会社(本社：東京都中央区)との間で、キッズウェル・バイオ株式会社が発再生医療等製品として開発中のヒト乳歯歯髄幹細胞の高品質かつ安定的な保管・輸送体制の構築に関する業務委託基本契約を3社間で締結し、再生医療分野においても医薬品の安定供給を担うべく、ヒト乳歯歯髄幹細胞を原料とする再生医療等製品の実用化に向けた協業を進めてまいります。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、2023年4月に実施された薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬やインフルエンザ関連商品をはじめとする市場の伸長および一部製薬企業の流通体制変更ならびに売上総利益率の改善に取り組んだこと等により、売上高1兆9,381億45百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益258億50百万円(同52.7%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高140億30百万円(同6.8%増)を含んでおります。

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」を推進しております。なかでも、物価高騰による仕入原価上昇への対応、調剤薬局販路開拓をはじめとするニューチャネル創造に取り組んでまいりました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の人流回復に加えて、訪日外国人増加によるインバウンド需要増に伴う市場回復の影響から増収となったこと等により、売上高2,003億61百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益21億80百万円(同31.1%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高3億95百万円(同8.1%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進しております。

2023年4月、連結子会社のアルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪府中央区)は、連結子会社であったサンノバ株式会社(本社：群馬県太田市)を合併いたしました。本合併により新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム[®]」の実現に貢献いたします。

また、アルフレッサ ファーマ株式会社は、2023年3月に株式会社ケイファーマ(本社：東京都港区)との間で締結した、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬としてのロピニロール塩酸塩の国内開発権・製造販売権許諾契約に基づく開発に引き続き取り組んでおります。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、ALS治療薬開発に係る契約一時金支出等の経費増の一方で、受託製造および原薬製造の売上伸長および新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット「アルソニック[®] COVID-19 Ag」をはじめとする診断薬の底堅い需要による増収の影響により、売上高399億63百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益11億38百万円(同14.7%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高117億32百万円(同11.0%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進しております。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、薬価改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬等の影響による増収および販管費抑制等により、売上高274億90百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益4億84百万円(同1,015.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して1,602億62百万円増加し、1兆5,001億14百万円となりました。

流動資産は、1,502億76百万円増加し、1兆1,848億3百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」が406億93百万円増加、「受取手形及び売掛金」が772億38百万円増加および「商品及び製品」が208億16百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、99億86百万円増加し、3,153億11百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が50億86百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「投資有価証券」が69億32百万円増加したことによるものであります。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して1,842億54百万円増加し、1兆357億71百万円となりました。

流動負債は、1,512億13百万円増加し、9,769億45百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が1,556億61百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、330億41百万円増加し、588億25百万円となりました。これは主として、「社債」が200億円増加、「長期借入金」が100億円増加および保有株式の時価上昇等に伴い繰延税金負債等の「その他」が34億82百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して239億92百万円減少し、4,643億43百万円となりました。これは主として、「利益剰余金」が91億70百万円増加および保有株式の時価上昇等に伴い「その他有価証券評価差額金」が27億36百万円増加した一方で、資本効率向上および株主還元の一環として自己株式を取得したこと等に伴い「自己株式」が357億23百万円増加したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,122	200,816
受取手形及び売掛金	623,654	700,892
商品及び製品	145,349	166,165
仕掛品	1,469	1,856
原材料及び貯蔵品	5,972	7,479
その他	98,379	107,901
貸倒引当金	△419	△308
流動資産合計	1,034,527	1,184,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,702	79,754
土地	72,127	72,086
その他（純額）	40,992	30,067
有形固定資産合計	176,821	181,908
無形固定資産		
のれん	2,545	2,190
その他	15,314	14,193
無形固定資産合計	17,860	16,383
投資その他の資産		
投資有価証券	91,555	98,488
その他	24,120	22,525
貸倒引当金	△5,033	△3,994
投資その他の資産合計	110,643	117,019
固定資産合計	305,325	315,311
資産合計	1,339,852	1,500,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,343	936,005
未払法人税等	6,046	1,676
賞与引当金	7,210	3,510
役員賞与引当金	384	290
独占禁止法関連損失引当金	4,937	4,937
その他	26,810	30,525
流動負債合計	825,732	976,945
固定負債		
社債	-	20,000
長期借入金	-	10,000
株式給付引当金	73	148
役員株式給付引当金	90	201
退職給付に係る負債	8,363	7,735
その他	17,257	20,740
固定負債合計	25,784	58,825
負債合計	851,517	1,035,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	57,720	57,720
利益剰余金	366,649	375,820
自己株式	△686	△36,410
株主資本合計	442,137	415,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,135	49,871
繰延ヘッジ損益	△0	△2
土地再評価差額金	△3,346	△3,375
為替換算調整勘定	269	385
退職給付に係る調整累計額	1,895	1,577
その他の包括利益累計額合計	45,953	48,456
非支配株主持分	244	302
純資産合計	488,335	464,343
負債純資産合計	1,339,852	1,500,114

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,047,935	2,179,803
売上原価	1,906,213	2,025,508
売上総利益	141,722	154,294
販売費及び一般管理費	121,721	124,350
営業利益	20,000	29,944
営業外収益		
受取利息	38	40
受取配当金	1,179	1,163
不動産賃貸料	443	404
その他	627	713
営業外収益合計	2,288	2,322
営業外費用		
支払利息	49	67
支払手数料	-	624
不動産賃貸費用	136	138
その他	110	221
営業外費用合計	296	1,051
経常利益	21,992	31,215
特別利益		
固定資産売却益	106	199
投資有価証券売却益	2,686	-
特別利益合計	2,792	199
特別損失		
固定資産売却損	15	100
固定資産除却損	77	135
減損損失	1	257
投資有価証券評価損	933	13
独占禁止法関連損失引当金繰入額	993	-
その他	79	-
特別損失合計	2,102	505
税金等調整前四半期純利益	22,683	30,909
法人税、住民税及び事業税	7,088	7,838
法人税等調整額	731	2,140
法人税等合計	7,819	9,979
四半期純利益	14,863	20,930
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,822	20,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	58

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,593	2,736
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	146	115
退職給付に係る調整額	△417	△318
その他の包括利益合計	6,322	2,531
四半期包括利益	21,186	23,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,144	23,402
非支配株主に係る四半期包括利益	41	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第459条第1項および当社定款第46条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。主にこのことにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が35,723百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は36,410百万円となっております。

(セグメント情報)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,808,614	186,350	25,841	27,128	2,047,935	—	2,047,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,137	429	10,568	0	24,135	△24,135	—
計	1,821,752	186,779	36,409	27,129	2,072,071	△24,135	2,047,935
セグメント利益又は損失(△)	16,929	1,663	992	43	19,628	372	20,000

(注1) セグメント利益の調整額372百万円には、セグメント間取引消去107百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用265百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,924,115	199,966	28,230	27,490	2,179,803	—	2,179,803
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14,030	395	11,732	—	26,158	△26,158	—
計	1,938,145	200,361	39,963	27,490	2,205,961	△26,158	2,179,803
セグメント利益又は損失(△)	25,850	2,180	1,138	484	29,654	290	29,944

(注1) セグメント利益の調整額290百万円には、セグメント間取引消去150百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用139百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。